

平成 21 年度 第 1 回常任委員会 議事録

日 時：平成 21 年 5 月 19 日（火） 14:00～17:00

場 所：土木学会 講堂

出席者：宮川委員長，岸幹事長，

石橋，入矢，上田，宇治，梅原，大津，金津，鎌田，河合，坂井，佐藤（勉），島，
下村，新藤，鈴木，武若，富田，中村，西垣，二羽，橋本，前川，松岡，丸山，横田，
渡辺の各常任委員，

佐藤，信田（記録），濱田の各幹事，村木（事務局）

オブザーバー；中井氏（北海道電力）（資料 1-5-1 及び 1-5-2 説明）

配布資料：

- 1-0 : 平成 21 年度 第 1 回常任委員会 議事次第
- 1-2 : 平成 20 年度 第 6 回常任委員会 議事録（案）
- 1-3 : 平成 21 年度コンクリート常任委員会 予定表
- 1-4-1 : 平成 20 年度コンクリート委員会 一般会計・特別会計 決算
- 1-4-2 : 平成 21 年度コンクリート委員会 一般会計・特別会計 予算案
- 1-5-1 : 循環型社会に適したフライアッシュコンクリートの最新利用技術，
コンクリートライブラリー132（目次，第 1 章，第 2 章）
- 1-5-2 : 同上 パワーポイント資料
- 1-6-1 : 委託研究願 「けい酸塩系表面含浸材 設計施工指針（案）作成」
- 1-6-2 : けい酸塩系研究会会則
- 1-7 : 全国大会 研究討論会 企画案
- 1-8 : 論文集再編資料（E-mail）
- 1-9 : 示方書構想小委員会 委員構成（案）
- 1-10 : 規準関連小委員会 委員構成（案）
- 1-11 : 国際関連小委員会 委員構成（案）
- 1-12 : 環境調和型コンクリート材料学の想像に関する研究小委員会 委員構成（案）
- 1-13-1 : 第 2 回示方書改訂小委員会（平成 21 年度・第 1 回）議事録（案）
- 1-13-2 : コンクリート標準示方書に関するアンケート（案）
- 1-14 : 英文版コンクリート標準示方書小委員会報告
- 1-15-1 : コンクリート教育研究小委員会 平成 21 年度活動計画（講習会の開催について）
- 1-15-2 : 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会
- 1-16-1 : 平成 20 年度「重点研究課題」調査研究報告書（概要版）
- 1-16-2 : 平成 20 年度土木学会重点研究課題（研究助成金）成果報告書（概要版）
- 1-17 : 国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 土木学会の文献引用について（お願い）
- 1-18 : ギリシアとの国際セミナー開催計画（E-mail）
- 1-19-1 : 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会
「成果報告会」の開催について
- 1-19-2 : 「コンクリート中の鋼材の腐食性評価と防食技術に関するシンポジウム」開催案内

1-19-3 : The 5th Kumamoto International Workshop on Fracture, Acoustic Emission and NDE in Concrete (KIFA-5)

1-20-1 : 日塗検ニュース「Vague」2009

1-20-2 : (社) 日本鉄筋継手協会会報「圧接」Vol.43 No.4, 2009.1

1-20-3 : (社) 日本鉄筋継手協会会誌「鉄筋継手」Vol.44 No.1, 2009.4

回覧資料:

- ① 日本学術会議「研究の現場において研究を進める上で支障となっている事項について」
- ② 複合構造委員会 複合構造標準示方書(案)
- ③ 「循環型社会に適合したフライアッシュコンクリートの最新利用技術」コンクリートライブラリー原稿案
- ④ Recommendations for Design and Construction of Concrete Structures Using Stainless Steel Bars (Draft)

議事

1. 委員長挨拶(宮川委員長):

新体制発足に当たり、今後2年間の協力をお願いしたい旨の挨拶が行われた。また、インフラマネジメント、環境問題、市民への性能明示、国際化などへの対応が重要であるとの考えが示された。

2. 委員自己紹介【資料1-1】:

各委員より自己紹介が行われた。

3. 前回議事録の確認(平成20年度第6回常任委員会)【資料1-2】:

岸幹事長より前回常任委員会の議事録案が読み上げられ、以下の修正を行うことで議事録(案)が承認された。

修正①; 4(10) 土木学会論文集改革・経過報告に関する記述につき、「コンクリート委員会としては、学会の活動に協力する」と修正する。

修正②; 出席者の河合先生の表記を、河合(佐藤代理)と修正する。

なお、上田委員よりIABSE会議参加に対する海洋架橋・橋梁調査会への助成申請については、開催時期の関係から助成対象とはならない旨の報告があった。

4. 審議事項

(1) 平成21年度コンクリート委員会・常任委員会開催予定【資料1-3】:

岸幹事長より、平成21年度コンクリート委員会・常任委員会の開催予定が説明され、承認された。

(2) 平成20年度決算(3/31最終)および平成21年度予算案【資料1-4-1, 1-4-2】:

岸幹事長より、コンクリート委員会の平成20年度決算、平成21年度予算が説明された。主な質疑は以下のとおり。

- ・資料1-4-1及び1-4-2の「収入の部」における表中の表記「支出実績」、「差引差額」は、誤解を生じるので削除し、収入の表は収入のみの記載とする。
- ・276小委の幹事長は、「山本」→「山村」に修正する。

- ・[規準編]を2010年に改訂予定であり、規準関連小委員会の予算50万円は厳しい(橋本委員)。
- ・示方書改訂小委員会も共通編の議論を含め、活動を強化する予定であり、150万円の予算では不足する可能性がある(丸山委員)。
- ・平成20年度の示方書仕掛かり金の残金は使えないか(梅原委員)。
- ・以上の質疑を踏まえ、宮川委員長より、当面は、資料に示す予算で活動を開始し、今後、執行状況を把握しつつ、必要があれば示方書仕掛かり金の増額を含め、修正予算を検討することとしたとの意向が示され、これを承認した。

(3) 循環型社会に適合したフライアッシュコンクリート最新利用技術

(コンクリートライブラリー132)【資料1-5-1, 1-5-2】:

前川委員及び中井氏(オブザーバー)より、資料ならびにパワーポイントを用いて、説明が行われた。また、コンクリートライブラリー原稿案が回覧された。主たる質疑は以下のとおり。

- ・2章は3章以降の研究内容を整理し、示方書として使えるような記述とした(前川委員)。
- ・材齢91日でのk値は0.55だが、長期では1までいくのではないかと(宇治委員)
 - 強度比較をすると、材齢91日ではほぼ100%(中井氏)。
 - 示方書で使うことを考え、現時点では控えめに評価した(前川委員)。
- ・「初期養生を十分に行えば、収縮を抑制できる」とあるが、「十分」の内容を明確にできるとよい(武若委員)。
- ・塩化物イオン拡散係数の予測について、示方書式と提案式があるが、使い分けるのか(武若委員)。
 - 示方書式を使ってよい(前川委員)。
- ・中性化残りの検討は行ったのか(宮川委員長)。
 - 未検討。初期養生が重要であり、「優れている」との記述には注意する(前川委員)。
- ・今後、2週間を目処に意見照会を行うこととし、具体的な意見照会の方法・内容は別途連絡することとした。

(4) 「けい酸塩系表面含浸材設計施工指針(案)作成」の受託について【資料1-6-1, 1-6-2】:

宮川委員長より、受託要請の経緯説明があり、異議なく受託が承認された。

(5) 全国大会研究討論会企画案について【資料1-7】:

下村委員より、「実務者から見たコンクリート標準示方書」と題する討論会について、その狙い、パネリスト案が説明され、異議なく企画案が承認された。

(6) 土木学会論文集再編後のコンクリート論文集について【資料1-8】:

丸山委員より、学会論文集再編後の、コンクリート分野の論文集名称案を以下のとおりとするとの提案があった。

和文論文集 ; Journal of Concrete; Materials, Structures and Construction

英文論文集 ; Journal of Materials, Concrete Structures and Pavements

なお、和文論文集の分野再編については、論文集編集委員会で検討中であり、和文論文集再編時まで継続検討とする。英文名称について、意見がある場合には、幹事会まで連絡することとした。

(7) 示方書構想小委員会委員構成について【資料1-9】:

宮川委員長より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

(8) 規準関連小委員会委員構成について【資料 1-10】:

橋本委員より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

(9) 国際関連小委員会委員構成について【資料 1-11】:

中村委員より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

なお、ベトナム関連対応は、JICA プロジェクトでの採択について結果待ちの状況であり、採択された場合には、別途、対応を検討するとの報告が行われた。宮川委員長より、ベトナム対応の窓口は国際関連小委員会とするとの意向が示された。

(10) 平成 21 年度重点研究課題「環境調和型コンクリート材料学の創造に関する研究」(218 委員会) 委員構成について【資料 1-12】:

濱田幹事より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

5. 報告事項

(1) JSCE2010 平成 20 年度部門別自己評価 (最終評価) について:

横田委員よりパワーポイントによる報告が行われた。資料希望があれば、横田委員まで連絡することとした。

(2) 示方書改訂小委員会進捗状況について【資料 1-13-1, 1-13-2】:

丸山委員より現在、5 つの WG で検討を進めていること、全体構成を検討するため、構成検討・環境・共通編の 3 つの WG は合同 WG にて議論を進める予定であること、アンケート調査 WG では改訂方針に反映させるため、5 月下旬～6 月中旬に電子アンケート式による調査 (調査内容は資料 1-13-2) を行うことなど、活動状況の報告が行われた。主たる質疑は以下のとおり。

- ・示方書全編を読んでいる者はいない。次回改訂に当たっては、各編間の整合など、時間をかけて読み込む必要がある。
- ・アンケートは、できるだけ多くの情報を得るよう、講習会参加者、示方書への質問提示者、学会メールニュース配信先など E-mail アドレス登録者も対象とするのがよい。
- ・コンクリート委員会メンバーに対しても協力を要請する。その際、アンケート調査依頼文 (発注者、受注者機関などに対する依頼文と同様のもの) を添付する。

(3) 英文版コンクリート標準示方書小委員会進捗状況について【資料 1-14】:

横田委員より、英訳作業状況、英訳後の一次原稿チェックの状況などが報告された。また、施工編の英訳に関わる費用 (約 130 万円) は今年度予算での執行となる旨の報告があったが、具体的な予算措置については、改めて委員長・幹事会と相談することとした。

(4) 教育研究小委員会 若手技術者講習会について【資料 1-15-1, 1-15-2】:

宇治委員より、平成 21 年度の小委員会活動計画ならびに本年 10 月～12 月に予定している若手・中堅実務者を対象とする講習会の開催計画について報告が行われ、以下の質疑があった。

- ・過去の講習会における質問、意見は整理されているか。
→ 整理しており、報告書に掲載するとともに、それを反映した講習会運営を行っている。
- ・この講習会では吉田賞基金への寄付を行っているが、寄付を行うか否かについて、コンクリート委員会としての方針はあるのか。

→ 吉田賞選考委員会との間に明確な取り決めはない。

- ・講習会主催者に吉田賞選考委員会の記載があるが、明記する必要があるのか。

→ 特にない。

(5) ステンレス鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針（案）英訳版 Web 公開について：
二羽委員より、指針（案）英訳版をコンクリート委員会ホームページに掲載、ダウンロード可とするとの報告が行われた。また、この旨をコンクリート委員会 Newsletter でも紹介することとした。

(6) 平成 20 年度重点研究課題「歴代既存構造物による施工法変遷の影響検証と LCC 最適化に向けた品質検査制度の導入」（216 委員会）調査研究報告書（概要版）について【資料 1-16-1, 1-16-2】：
岸幹事長より、研究報告書（概要版）ならびに成果報告書（概要版）の紹介が行われた。また、成果報告書（フルペーパー）は、10 月を目処にとりまとめ予定であるとの報告があった。

(7) Web 公開文書への示方書の転載について【資料 1-17】：

国交省東北地方整備局東北技術事務所から照会のあったコンクリート委員会関連文献の引用ならびに転載料の扱いについて、岸幹事長より、依頼者は刊行物を無償で配布予定であること、転用率は 21% であること、現在、出版委員長判断により有償（最小 2%）とすることで出版委員会が依頼者と折衝中との報告があった。これに対し、著作権の扱いは慎重であるべきで、第三者が納得できる対応とするのがよいとの意見があった。

(8) ギリシアとの国際セミナーについて【資料 1-18】：

ギリシアでの国際セミナー共催について、中村委員より、11 月 20 日に開催予定であること、日本側から堺委員、下村委員、中村委員の 3 名が参加（講演予定）するとの報告が行われた。

(9) 講習会・シンポジウム等開催報告【資料 1-19-1～1-19-3】：

岸幹事長より、以下に示す講習会、シンポジウム等の開催が紹介された。

- ・材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会「成果報告会」
(2009.5.27, 土木学会)
- ・「コンクリート中の鋼材の腐食性評価と防食技術に関するシンポジウム」
(2009.10.16, 土木学会)
- ・The 5th Kumamoto International Workshop on Fracture, Acoustic Emission
and NDE in Concrete(KIFA-5) (2009.9.17-18, 熊本)

(10) その他

- ・下村委員より、示方書連絡調整小委員会の活動が終了し、電子版報告書を作成、ダウンロード可とするとの報告が行われた。
- ・上田委員より、複合構造標準示方書の原稿が完成し、意見を提供願いたい旨の要請が行われた。

6. その他

次回幹事会：2009 年 6 月 30 日（火）土木学会（案件の締切は前日 6/29）

次回常任委員会：2009 年 7 月 7 日（火）14:00～17:00 札幌

以 上